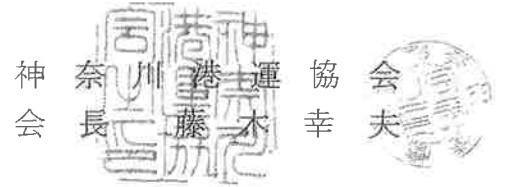


神港協第2184号  
平成28年1月21日

一般社団法人日本港運協会  
会長 久保昌三 殿



南本牧埠頭における早朝及び昼休み時間帯のゲートオープンの  
継続実施について (お願い)

拝啓 大寒の候、貴下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は当協会の事業運営に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、横浜港南本牧埠頭におきましては、昨年4月からMC-3コンテナターミナルが供用開始され、コンテナ搬出入車両の通行量が増加し、それに伴い早朝のみならず日中、特に昼休み前後のコンテナ搬出入車両のゲート待機列が待機場より溢れ、近隣の道路渋滞等を引き起こしている状態となり、更に10月、従来大黒埠頭C-4で取扱っていた船社・航路がバースの変更により南本牧埠頭での取扱になった事により、通行量の格段の増加が発生しました。

そこで、渋滞緩和策として、昨年5月より早朝ゲートオープンを都度実施し、さらに10月からは、暫定的に交代制での昼休み時間帯のゲートオープンの実施をおこなっているところです。

当協会としましては、横浜市港湾局からのインフラ整備が整い混雑解消が図られるまでの間との協力依頼という事もあり、不安全な状況の継続は健全な港湾運送事業の発展に支障をきたすとの観点から、横浜地区及び当該ターミナルの労使協議が整うことを前提として、暫定的に設けた期間を延長し、下記の通り横浜市港湾局からの要請に応じることにしたいと考えております。

つきましては、当地区の事情ご賢察いただき、南本牧埠頭地区コンテナターミナルの早朝及び交代制での昼休み時間帯のゲートオープン実施期間延長につきまして、格段のお計らいをお願い致したく宜しくお願い申し上げます。

敬 具

記

1. 実施期間： 平成28年労使協議合意日から平成29年3月末日まで
2. 実施時間帯： 07時30分から08時30分まで  
12時00分から13時00分まで

以 上

(添付参考資料)

- ・昨年10月以降(12月末まで)のコンテナ取扱実績等について

・昨年10月以降（12月末まで）のコンテナ取扱実績等について

1 日本郵船横浜ターミナルの移転によるゲート取扱量増加

移転前搬出入本数 平均 2000本/日

移転後増加搬出入本数 平均 600本/日 合計平均 2,600本/日

最多 11月26日 2894本/日

木曜日平均 2794本/日

2 早朝ゲートオープン実施での取扱数

日本郵船横浜ターミナル移転後

10月8日より 28日間実施 7,027本

平均 251本/時間、最多 291本/時間 12月10日

3 昼休み継続ゲート実施

12月 平均 262本/時間、最多 331本/時間 12月15日

以上

港湾港第 309 号  
平成 28 年 1 月 18 日

横浜港運協会  
会 長 藤木 幸夫 様

横浜市港湾局  
港湾局長 伊東 慎介



南本牧ふ頭における早朝及び昼休み時間帯の  
ゲートオープンの実施について（依頼）

拝啓 大寒の候、貴下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。  
平素は横浜市港湾行政に格別なるご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、横浜港南本牧ふ頭地区では、昨年 4 月より MC-3 コンテナターミナルが供用開始し、ふ頭を出入りするコンテナ搬出入車両の通行量が増加傾向にあります。

こうした状況を受け、本市では、昨年 4 月に早朝ゲートオープン、9 月には昼休み時間帯のゲートオープンの実施体制構築について依頼し、既に取組を開始していただいているところです。

しかしながら、南本牧ふ頭で取扱うコンテナ貨物量は今後も増加が見込まれており、引き続き体制の強化が必要となっています。

つきましては、南本牧ふ頭は現在も造成工事を継続しているため、周辺インフラが整備されるまでの間について、南本牧ふ頭内外の渋滞を回避し、交通事故を防止するとともに、円滑なコンテナ搬出入車両の通行を確保するため、貴協会において混雑が集中する場合に備え、平成 28 年度においても各事業者が早朝及び昼休み時間帯のゲートオープンを実施できる体制を構築できるよう、ご協力賜わりたく宜しくお願い申し上げます。

敬具